

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時にスムーズに対応できるようにマニュアルを作成し全職員が対応できるようにしている。応急手当の勉強会を実施している。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月様々な災害を想定し利用者と一緒に防災訓練を行い避難方法や経路の確認を行っている。また、職員には災害受信監視盤や消火器の使い方を指導し災害時には迅速・的確に対応できるようにしている。地域の自治会にも協力を呼びかけている。		定期的に地域の方々と防災訓練を行っていく。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに起こり得るリスクを把握し、毎月リスクマネジメントについて会議を行い対応策を検討し見直しを行い、ご家族にも説明を行っている。		
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い利用者の普段の状態を把握しており、身体状態に異変を感じた場合は速やかにリーダー・看護師・かかりつけ医に報告し迅速に対応できるよう努めている。また、職員間でも情報を共有し対応にあたっている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の服薬の内容をファイルにまとめ、全職員が確認できるようにしている。また、処方の変更がある場合は用法・用量、副作用について申し送りを行い状態の変化を記録し、かかりつけ医に報告している。		錠剤でも服用が困難な利用者には粉剤での服用方法をとって、利用者の負担を最小限にし確実に服薬できるよう支援している。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	予防のために水分補給や乳製品・繊維性食品を提供したり、運動を積極的に行いコントロールしている。また、慢性便秘の利用者には医師の指示を仰ぎ最小限の緩下剤を使用し排便困難の軽減に努めている。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、利用者の能力に応じ見守りや介助を行っている。また、就寝前には義歯の洗浄を行い清潔保持に努めている。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム サンテラス

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

法人母体の友田病院が隣接しており、利用者の健康管理や緊急時の対応がスムーズに行う事ができる。食事の形態も治療食やミキサー食・ソフト食など病院の厨房より提供しているので利用者それぞれの状態に合わせて幅広く対応できる。また、地域との交流も多く地域の自治会や民生員を通じて保育園や小学校との交流も定期的にありボランティアの方との交流や利用者の家族との交流を大切にしている。